

『家族・私有財産・国家の起源』に学ぶ

第6回

関東ブロック

第四章 ギリシヤの氏族

古代ギリシヤとは

司会…イロクオイ族の氏族に続き、ギリシヤの氏族についての学習です。イロクオイ族に先行していたギリシヤの氏族制度について深掘りしていきます。まずは、ギリシヤの時代背景について説明して下さい。

小谷田…古代ギリシヤとは、紀元前12世紀頃から紀元前2世紀にローマ帝国に征服されるまでのギリシヤ文明の時代を指します。

①暗黒時代（紀元前12世紀～紀元前8世紀頃）Ⅱミケーネ文明の崩壊後、

政治的・経済的に停滞し、村落社会が形成されました。

②アルカイック期（紀元前8世紀～紀元前6世紀頃）Ⅱホメロス（紀元前8世紀頃の吟遊詩人）の叙事詩が成立し、ポリス（都市国家）が発展しました。オリンピック競技もこの時代に始まります。

③古典時代（紀元前5世紀～紀元前4世紀頃）Ⅱアテネの民主主義が確立し、哲学・芸術・科学が発展しました。ソクラテス、プラトン、アリストテレスなどの哲学者が活躍した時代です。

④ヘレニズム時代（紀元前4世紀後半

～紀元前1世紀頃）Ⅱアレクサンドロス大王の遠征により、ギリシヤ文化が広範囲に影響を与えました。

司会…吟遊詩人・叙事詩についても補足説明して下さい。

小谷田…吟遊詩人とは、詩曲を作り各地を訪れて歌った人々を指し、叙事詩とは、物事や出来事を記述する形の詩のことをいうそうです。

司会…ありがとうございます。何か質問や補足などありますか。

本郷…母権制社会の始まりはどこで、どんな社会だったのですか。

小谷田…ベラスゴイ族だと思うのです



が。ギリシャの古代先住民で、新石器時代（紀元前35世紀頃）の民族と考えられます。ベラスゴイ族の社会は、母権制で、女性が支配的な立場にあり、彼らの宗教体系には男性の神や祭司はおらず、宇宙全体を治める女神とそれに仕える巫女だけが存在していました。杉田…何故、母権制社会から始まったのですか。

小林…たぶん、女性は子を産むことができ、母乳で育てることが出来るからだと思います。社会文明には男性は必要なかったということですかね。

司会…ここから本章に入ります。結婚・相続、家族・氏族・胞族・部族、統合部族と都市、富の集中と階級制度などについて討論していきます

す。最初に結婚・相続について説明して下さい。

結婚・相続（富の分散）

小谷田…母権制から父権制社会に変わり、私的な富の蓄積は、氏族制度に二つの対立を作りました。一つ目は、共同体的な氏族のあり方に変化をもたらした個人の経済力や影響力の増大につながった可能性があります。二つ目は、結婚（相続）による富の分散です。富（財産）の分散を防ぐため、女相続人の場合は氏族内での結婚が許可・命令されました。なお、結婚は、一般的に女相続人の場合を除き、氏族内での結婚は禁止され、氏族の外部での結婚が原則であったということです。

司会…ありがとうございます。補足、または質問をお願いします。

本郷…古典期のアテナイ（アテネの古名）では、女性が相続人となった場合

は、最も近い男性親族（一般的には叔父またはいとこ）と結婚することが義務付けられ、そうすることで、財産を維持したようです。

桜木…集団婚はあったのですか。

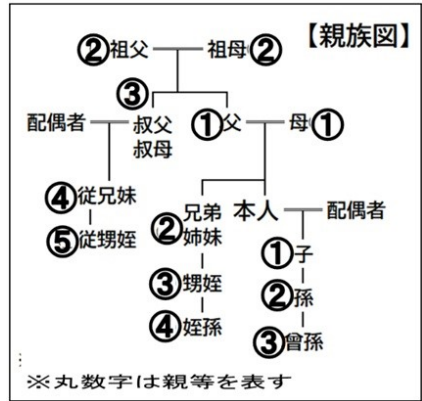
小谷田…モーガン（1818～81、米国の文化人類学者）が古代社会で乱婚に次ぐ原始的婚姻形態として推測しましたが、その事実は確認されていません。

司会…近親婚について何か意見がありますか。

小林…古代エジプトなどでは、父娘婚や兄弟姉妹婚が善行とされた時期がありました。が、徐々に禁止されていったようです。

根岸…古代ギリシャでは親子間の近親婚はタブーとされており、また、青銅器時代では、いとこ婚の習慣があったことが明らかになっています。

石川…アフリカの現ヌエル族は一夫多妻制ですが、自分の集団に属さず、ま



た自分の一族の相手が結婚したことがある集団にも属さない人と結婚をするという慣習があるそうです。近親婚は生物学的に問題ないのですか。

向山…日本の民法第734条(右図)では、近親者間の婚姻が禁止されています。この条文は、3親等内の婚姻を制限することにより、社会的、道徳的な秩序を維持し、遺伝的リスクを軽減しています。従って、4親等以上のいとこ婚などは認められています。

桜木…海外ではどうなっていますか。

向山…ドイツは3親等以上、イギリス・フランスなどは4親等以上、アメリカは州によって異なり4親等以上または5親等以上、フィリピンは5親等以上。また、パキスタンでは73%がいとこ婚であり社会問題になっています。

家族・氏族・胞族・部族

司会…次に家族・氏族制度についての説明を受け、討論しましょう。

小谷田…氏族制度の下では、家族は組織単位ではなかったし、夫と妻は必然的に相異なる氏族に属していたため、家族の半分は夫の氏族、半分は妻の氏族に分かれており、家族は認められていませんでした。しかし、従来の全ての歴史書は、不合理な前提から出発しています。単婚制個別家族が結晶核であって、この周りに社会や国家が徐々に付着してきたと、更にグロートは、

アテナイの各氏族は族祖父に由来する名前をもっていたこと、死亡者の氏族員たちがその財産を相続したこと、とこれに対するモーガンの答えは、原始形態にある氏族に照応する血縁制度は、氏族の全成員相互間の親族関係の識別を保証し、氏族名こそが共通の血統であることを保証するものとなった、と言っています。

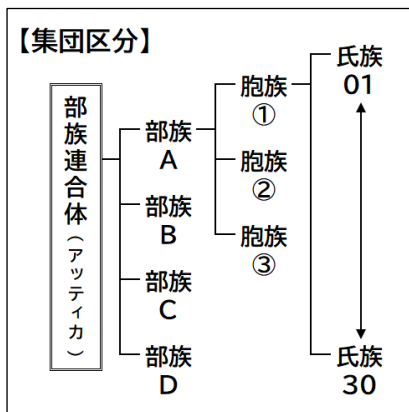
根岸…夫婦が異なる氏族に属していたとはどういうことですか。

小谷田…結婚は政治的・経済的な同盟の手段としても機能し、家族の財産や血統を守る役割を果たしていました。従って、氏族を維持するための一つの策と考えられます。また、結婚年齢は年齢差が大きく、女性は10代前半で男性は30代前半が一般的でした。

石川…男女は平等だったのですか。

本郷…女性は不動産を持つことも禁止され、参政権や裁判を起こす権利もないなど、大きな制約を受けていました。

◆みんなの学習講座



杉田…個別家族の家系図は残っていたのですか。

小林…氏族の家系図は、はるか以前まで遡ることになりますが、共通の先祖が比較的新しい場合に限られ、他の場合は、その相互関係を証明することができなかった、と書かれています。

司会…続いて胞族・部族について説明して下さい。

小谷田…胞族とは、二つ以上の氏族やリネージ（血統）が結びついてできる

より大きな集団を指します。胞族は、いくつかの子氏族に分裂しながらも、

それらを統合する親氏族であって、全氏族を共通の族祖父に由来させていました。胞族の全氏族は文字通り、兄弟氏族でした。

部族は、親族関係にある幾つかの胞族から成り立っています。現アテネを中心とするアッティカ地方には、左上図の通り、4つの部族、3つの胞族、30の氏族がありました。整然たる集団区分は、自然発生的に成立した秩序に対する意識的、計画的な干渉を前提としています。

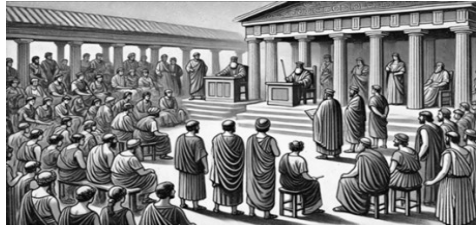
本郷…部族と民族の違いについて教えてください。

小谷田…部族とは、一定の地域に住み共通の言語や宗教などを持ち、一つの政治的統率下にある共同体を言い、民族とは、共通の文化的背景と同じ集団に帰属するという意識を持つ人々の集まりです。

統合部族と都市

司会…部族に次ぐ部族連合体と都市について説明して下さい。

向山…ホメロスの詩から、ギリシャの諸部族の大部分がいくつかの小さな統合部族に結集し、内部での自立性を保持し、既に城壁で固めた都市に住んでいたことが分かります。畜群や畑地耕作が拡大し、手工業が始まり、人口が増加すると共に富の差が増大し、古い自然発生的な民主政の内部に貴族政治的な要素が成長してきました。また、個々の部族団は、最良の地域を占有すると共に戦利品を得るための戦争を続けていました（捕虜を用いた奴隷制は既に公認の制度でした）。なお、部族や部族団の主な制度としては、①評議会Ⅱ評議員は首長から選挙に、重要事項の最終決定、後の元老院に。②民会Ⅱ評議会が召集、民会の決定は窮極的に最高のもの。③軍指揮者などがあり



民会（評議会）の様子

たが、紀元前7世紀にはポリス市民の信仰の対象ともなり、都市国家における共同体の絆のシンボルとして神殿が築かれ、ポリスの守護神を祭ったそうです。

小谷田…ポリスは都市の発展により、周辺村落を含む国家を指すように変化し、さらに土地所有者間における市民

ました。

桜木…城壁で固めた都市とはどういうものですか。

本郷…防壁で固められた自然の丘（小高い丘や成山）に神殿や砦が築かれました。

向山…当初は対

外的軍事拠点、つまり城壁でし

権概念の出現により、市民全体、市民集団を指すようになりました。

石川…社会形態はどうなっていたのですか。

向山…都市はいくつかの部族から構成され、ポリスはしばしば三種の住民に分割されていました。最高の階級は参政権のある市民、次に参政権のない市民、最後に非市民がいました。武器は自費で揃えるため貴族が国防の主力でした。

富（私有財産）の集中

司会…続いて、富の集中について説明して下さい。

向山…英雄時代の制度のうち、古い氏族組織が崩壊する端初を見ることになります。それは、①父権制と子への財産の相続による富の蓄積と氏族間の対立。②富の差が世襲の貴族及び王位への最初の萌芽を形成することによって起

こる反作用。③奴隷制が捕虜だけでなく、既に自己の部族員や氏族員を奴隷化しつつあったこと。④昔の部族戦争が変質して、家畜・奴隷・財宝を獲得するための陸上や海上での組織的な略奪が正規の営利源泉になりつつあったこと。⑤要するに、富が最高の善として賛美され尊敬されて、古い氏族秩序が富の暴力的な略奪を正当化し乱用されたことなどです。

司会…重要な内容です。ここままで意見・質問などありますか。

杉田…ギリシャの英雄時代とはどういう時代ですか。

向山…紀元前13世紀頃〜紀元前9世紀頃にあたり、ギリシャ神話に登場するヘラクレスやペルセウスなどの英雄たちが活躍したとされる時代概念です。ホメロスやヘシオドスの詩を通じて、この時代の英雄たちの物語が後世に伝えられました。

石川…部族連合体で、「手工業が始ま

◆みんなの学習講座

るにつれて人口が急増し富の差が増大して、旧い民主政の内部に貴族的な要素が成長してきた」とありますが、英雄時代は氏族制度が力を持っていたが崩され始めていたという事ですか。

向山…そうです。これまでの部族間戦争が変質して、陸上や海上で家畜・奴隸・財宝を獲得するための組織的略奪が正規の営利源泉につながりつつあったからです。

司会…どなたか、私有財産の役割について説明して下さい。

桜木…市民は基本的に自分の土地や家・奴隸などを私有し、その財産が兵装や納税の負担能力を決め、ポリス政治への参加権にも直結していました。アテナイでは市民を財産額で4等級に分け、その等級によって就ける公職や兵種が決まり、重要な官職には一定以上の財産を条件とし、ポリス運営と私有財産が密接に結び付いていました。

階級制度と国家の発明

司会…続けて説明して下さい。

向山…「だが、古い氏族共同体には、一つの制度が欠落していた」とし、それは、①個々人が新たに獲得した富を氏族秩序の共產制的伝統に対して保障し、②以前は軽視されていた私有財産を神聖化すると共に、この神聖化をあらゆる人間共同体の最高目的だと宣言し、③発展してくる財産獲得の新しい諸形態（富の増殖の新しい諸形態）に全社会的に承認した一つの制度です。それが、始まりつつあった社会の諸階級への分裂を永遠化したばかりでなく、有産階級が無産階級を搾取する権利や前者の後者に対する支配を永遠化した一つの制度が出現しました。

杉田…有産階級・無産階級とは、どういう階級のことですか。

向山…有産階級とは、多くの資産を持つ人々の社会階層を指し、無産階級と

は、生産手段を持たず、労働によって得られる賃金で生活する人々のことを指します。

小谷田…有産階級⇨資本家、無産階級⇨労働者ということですか。

小林…資本家は16世紀から17世紀のヨーロッパで出現し始めました。ですから、ここでは、富を蓄積している者富を持たない者と理解すべきです。

根岸…富の増殖の新しい諸形態とは何ですか。

向山…個々人が新たに獲得した富の保障です。つまり私有財産の神聖化、社会の階級への分裂、有産階級による無産階級を搾取し支配する制度、次章で学ぶ「国家が発明されたのです。これでは有産階級は自由に搾取することができますようになりました。

司会…長時間にわたる討論 お疲れ様でした。ギリシャの氏族制度について理解が深まったと思います。次回はアテナイ国家の成立について学びます。